

提供日 2024/04/25
タイトル 【企業・団体・学校等へのお願い】HPVワクチン
キャッチアップ接種について、県の取組を参考に社員・
学生等の皆様への周知をお願いします。
担当 健康福祉部 医療局感染症対策課
連絡先 ふじのくに感染症管理センター
TEL 055-928-7273



【企業・団体・学校等へのお願い】

HPVワクチンキャッチアップ接種について、

県の取組を参考に社員・学生等の皆様への周知をお願いします。

- 子宮頸がんの予防のためのHPVワクチンの個別の接種勧奨が差し控えられていた間(平成25年6月から令和3年度末まで)に接種の対象者だった方(平成9年4月2日から平成20年4月1日の間に出生した女子)で3回の接種が完了していない方が、公費での無料接種(キャッチアップ接種)を受けることができる期間は、令和4年度から令和6年度の3年間です。
- 県は、キャッチアップ接種期間が残り1年となるにあたり、対象となる県職員230人に接種状況の調査及びワクチンについての情報提供を行いました。
- ★企業、団体、学校等においても、このような県の取組を参考にいただき、各企業・団体・学校等に所属するキャッチアップ接種の対象者へ個別に必要な情報が届くよう周知に御協力をお願いします。

1 県の取組の紹介

- ・キャッチアップ接種の対象となる県職員向けに接種状況調査・情報提供を行いました。
＜調査期間＞令和6年3月7日から19日
＜回答者数(回答率)＞149人(65%)
＜結果の概要等＞(詳細は別添のとおり)
- ・HPVをワクチンを知らない人の割合は19%、HPVワクチンを知っている人のうちキャッチアップ接種を知らない人の割合は34%となっており、県職員においてもキャッチアップ接種の認知度は低かった。
- ・HPVワクチンに関する詳細な情報提供を受けた後で接種を前向きに検討する人の割合は、HPVワクチンやキャッチアップ接種を知らなかった人で71%となっており、知っていた人よりも割合が高かった。
- ・キャッチアップ接種を知っている人で、接種をしていない理由としては、「副反応が心配だから」が44%で最も多く、次いで「接種する時間がないから」が26%、「接種できる医療機関が分からないから」が11%等となっている。
- ・アンケートの実施に加え、全職員が閲覧できる情報システム上の掲示板でHPVワクチンやキャッチアップワクチンについての詳細な情報提供を行った。

2 企業・団体・学校等へのお願い

- ・1のような県の取組を参考にいただき、各企業等において社員の皆様等へのキャッチアップ接種の周知に御協力をお願いします。
- ・調査方法や情報提供の内容については、お気軽に県感染症対策課までお問い合わせください。

(参考)HPVワクチンの概要

- ・HPVワクチン接種は、その安全性と有効性が認められており、子宮頸がんの1次予防方法として日本を含む多くの国で予防接種プログラムに導入されています。
 - ・HPVワクチンが子宮病変を予防する有効性は20歳頃に行う初回接種まではある程度保たれることが示されています。性交経験がある場合でもワクチンの効果がなくなってしまうわけではありません。
 - ・日本ではHPVワクチン接種率が諸外国と比べて著しく低い状態が続いているため、早急にHPVワクチン接種を普及させることが強く求められています。
- ※子宮頸がん・HPVワクチンの詳細や、市町のキャッチアップ接種担当課などについては、以下の県感染症対策課HPを参照してください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003071/1024283.html>



enquete.pdf

